

Lesson 14 ローマの魅力

A 名詞を後ろから説明する①-形容詞句や前置詞句を名詞の後ろに置く

1. 京都は神社仏閣で有名な都市だ。

Kyoto is a city famous for its shrines and temples.

its は it の所有格。it は Kyoto を指す。Kyoto's -> its にしている。shrines and temples に its をつけるのは、主語の shrines and temples であることを示すため。

2. 富士山の写真が載った年賀状を受け取った。

I received a new year's card with a photo of Mt. Fuji on it.

with は同伴・関連・関係等を表す。it は a new year's card を指す。

I received a new year's card with a photo of Mt. Fuji on a new year's card.

B 名詞を後ろから修飾する②-不定詞や分詞を名詞の後ろに置く

3. 暑いですね。何か冷たい飲み物はいかがですか。

It's hot. Would you like something cold to drink?

some, every, any, no に -one, -body, -thing をつけた形の代名詞について

-one と -body は「人」を表し、-thing は「もの」を表す。いずれも単数形として扱う。no one だけは 1 語にはしない。これらの代名詞に形容詞がつく場合は、形容詞を後ろに置く。

some と any について 後述

4. そのチームはカーター氏の後任のコーチを見つけれられない。

The team can't find a coach to succeed Mr. Carter.

単語) succeed 「成功する、後任となる、後を継ぐ」 successor 「後任者、後継者、継承者」

5. 特にお話することはありません。

I don't have anything special to talk about.

直訳) 私は何かについて話すための特別なことは持っていません。

6. あそこの芝生で寝ている男性は私の兄です。

The man [who is] lying on the grass over there is my brother.

lie と lay 後述

7. 私の家族はナビがついた新しい車を買った。

My family bought a new car [which was] equipped with a navigation system.

Expressions

1. ジムは早く家に帰るという約束を守った。

Jim kept his promise to go home early.

2. この夏に北海道の友人を訪ねるという考えはあきらめた。

I've given up on the idea of visiting my friend in Hokkaido this summer.

3. ジュリアがスペインから帰ってくるという知らせに彼女の両親は喜んだ。

The news ^{関係代名詞} that Julia would come back from Spain delighted her parents.
無生物主語

The news ^{主語} that ^{動詞} Julia would come back from Spain ^{目的語} delighted her parents.
「その知らせは彼女の両親を喜ばせた。」

単語) lie (自動詞) と lay (他動詞)

原形	意味	過去形	過去分詞	現在分詞
lie	横たわる	lay	lain	lying
lay	横たえる	laid	laid	laying

some と any

1. some

ある程度の量や数を表す

some は数えられない名詞 (不可算名詞) についてある程度の量があることを、また数えられる名詞 (可算名詞) についてある程度の数があることを表す。

some を使う場面

some は肯定文で用いられるのが普通。しかし、あると思って質問するときは、疑問文でも some を使う。

e.g.) Are there some messages for me? 「私に何かメッセージはありますか?」 (メッセージがあることを前提に聞いている。)

また、何かを勧めるような場面でも some を用いる。

e.g.) Would you like some coffee? 「コーヒーはいかがですか?」

2. any

any の使い方

1) 疑問文で用いる

何かが少しでもあるかどうかを尋ねる疑問文で用いられる。

2) 否定文で用いる

否定文で用いられると「少しも～ない」という意味になる。

3) 条件節で用いる

any は次のような条件節でもよく用いられる。

Can I have some more coffee, if there is any left? 「コーヒーが (いづらかでも) 残っていたら、もう少しください。」

4) 肯定文で用いる

any が肯定文で用いられると、3人以上の人や3つ以上のものについて「どれも」という意味を表すことになる。この場合、単数形の名詞を修飾することが多い。

e.g.) Any ^{単数形} student in this class can answer the question. 「このクラスのどの生徒でも、その質問に答えることができる。」